HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	ソ連邦の社会主義建設期における農業の幹部養成
Author(s)	ニーナ・ミトロファーノヴナ, カトゥーンツェヴァ
Citation	北海道大學教育學部紀要, 38, 61-62
Issue Date	1981-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/29234
Type	bulletin (article)
File Information	38_P61-62.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

ソ連邦の社会主義建設期における農業の幹部養成

ニーナ・ミトロファーノヴナ・カトゥーンツェヴァ

Подготовка сельскохозяйственных кадров в период построения социализма в СССР

Нина Митрофановна КАТУНЦЕВА

美土路達雄教授北海道大学停年退官記念論文

Статья написана цля сборника, посвященного уходу на пенсию профессора Хоккайдского Государственного университета Тацуо Мидоро

ソ連邦における農業幹部の養成は，ソビエトの農村の社会主義的改造と切り離しがたく結びつけられております。わが国の生活におけるあらゆる根本的変革の最初の契機となった1917年の大十月革命が勝利した後，農民の社会主義への移行のもっとも重要な段階となったのは，基本的に社会主義建設が完了した初期の五ケ年計画（1928—1937）を含む国民経済の再建期であります。

ソビエト政権は，その存在した最初の年から，農業の発展と農業専門家の確保に大きな注意を払いました。しかし，これら最初の数年間における農業の資質ある幹部の数は，まずは少く，資質ある幹部が20,000人（これには，国家の職務や，同じく，ゼムストヴォ，地主経営などに従事していた農業関係の職員を含んでいました）をわずかにこえていた第一次大戦前の1914年と比較してさえ，減少しておりました。

幹部の減少とかかわっていたのは，第一次大戦と国内戦の結果による死傷者数と，ブルジョア・地主体制に浸りきっていた専門家たちの一部の亡命者数，およびその他の要因でした。

ようやく，1920年代の中ごろまでに高い資質の専門家数を第一次大戦前の水準まで引上げることに成功したソ連邦は，この時期に，農業の再建計画に対応して，幹部養成制度を根本的に変革し，幹部の量的，質的向上を断固として強化しました。すでに，第一次五ケ年計画の初頭に，ソ連邦では，34,600人の農業技術者，測量技師，獣医が働いておりました。組織者たちや，他の生産・技術幹部（集団農場議長，14,800人，国営農場の指導者 3,100人，トラクター運転手，約30,000人など）をふくめると，農業幹部は80,000人以上になっておりました。しかしながら，この数は，わが国の広さと農村の社会主義的再建の展望を考えると微々たるものでありましたし，幹部の再生産のテンポの促進からも，また，かれらの科学的技術的資質の向上からいっても，いっそう大きな活動が求められておりました。1929年から1932年のあいだに，ソ連邦では，450万人の大衆的職業労働者(国営農場のために，約 150万人，集団農場のために300万人以上)が養成されましたが，この中には，約70万人の基幹的職業の工業労働者（トラク

ター運転手，コンバイン運転手，自動車運転手）と，約60万人の補助的職業の労働者（打穀機の運転手，連結手その他）がふくまれていました。第二次五ケ年計画期にも，多くの要員が養成されました。全部で 400万人以上が養成されましたが，その中には，集団農場部門のための 339万5千人がふくまれていました。そのうち,200万以上は機械化専門家であり，約5千人は補助的職業の機械化専門家でした。かくして，10年間にわが国の農業では，機械化専門家を主とする 850万人の大衆的職業労働者が得られました。この期間，同じく，高度な資質の専門家の数も増大しました。1937年に，大学は農業に11,300人の専門家を送り出しましたし，中等技術学校は23,000人を送り出しました。第一次五ケ年計画と比較しての第二次五ケ年計画期の卒業生の増大分だけでも，高級および中級資格の専門家は36,600人となりました。

このようにして，再建期におけるソ連邦の農業の幹部養成の規模は，農業の基幹部門に幹部を充分供給したのみならず，農村における社会主義建設の完成のための，また，共産主義へ向ってのソビエト連邦の前進の条件のもとで，農業生産の一層の改善のための専門家の計画的養成を調整することをも可能にしたのです。

現在，ソ連邦の農業において，その多くは高級資格の専門家です。そこには，およそ，1,200 万人の人々が働いており，かれらは，農業生産のまさに現代の科学・技術の諸成果を身につけております。

〔竹田正直　訳, переводчик :Масанао ТАКЭДА〕